

松浦市 年始の行事

7日 消防出初式



3_24分団、約350人が式典会場へ向けて見事な分列行進を披露。4_式典の最後には消防車6台による一斉放水が行われ、防火・防災への意識を新たにした。

8日 志佐・庄野地区 ももてこう百手講



5_矢を射て五穀豊穣を祈願する伝統行事。今年は守山清和さん、北川亮さんが地域住民らが見守る中射手を務めた。前半、イタビの木で作られた弓に慣れるのに苦戦したものの、懸命に的を狙い、50本中11本の矢を的中させた。

14日 調川町 鬼火たき



空手道、剣道、少林寺拳法、なぎなたの4競技、約40人が形や稽古の様子を披露した。



8_調川地域まちづくり運営協議会「調創会」の約15人が1日半かけて製作した鬼小屋。

鬼火たきは毎年1月7日に開催されるが、乾燥による火災予防のため延期していた。地域住民らは高く燃え上がる炎を見上げ、無病息災を祈った。

6日 星鹿町 もぐら打ち



6日 松浦魚市場初セリ



1 中学1年生までの子どもたち14人が2班に分かれて約100戸の家をまわり、班ごとに異なる
はやしことば隣子詞を唱えながら玄関の床をたたいてまわった。

11日 大般若



6



6 志佐町や福島町の一部の地区で受け継がれる伝統行事。志佐町里地区では、還暦を迎える金子裕一さんらが経典の入った箱を担ぎ、赤間ミサ子さんが玄関先を海水で清め 250戸以上の家をまわった。

取材できたもののみ掲載しています。

12日 武道始め式



7 なぎなた競技の西垣省吾さんが「一意専心（雑念を払い一つのこと集中する）に稽古に励みたい」と新年の抱負を述べ式典がスタート。